

留小だより

令和6年9月20日(金) NO.15
留萌市立留萌小学校



《前期 児童・保護者アンケートの結果》

「子どもの育ちに関するアンケート」へのご協力、誠にありがとうございました。児童アンケートの結果やマニフェストとの比較等と併せてお伝えしたいと思います。

子どもたちをより一層成長させていけるよう、今回のアンケート結果を後期の子どもたちへの指導に生かしてまいります。

保護者アンケート回答数142(72%回答)

	CHALLENGE 2024 前期結果	達成度	
		保護者	児童
「自立」と「共生」の基盤づくりのために	①教師と児童、児童同士の信頼関係やよりよい人間関係を育み、安心して登校できる学級経営に努めます！(目標:児童95%)	95%	97%
	②自分の将来の夢や目標をもち、目的意識をもって学校生活を送ろうとする指導の工夫に努めます！(目標:児童95%)	89%	94%
	③協働・参画意識の高揚を図り、社会性を育むため、異学年による教育活動を工夫します！(目標:児童95%)	96%	94%
	④個に応じた支援に取り組むとともに、関係機関と連携し、チームで特別支援教育の充実を図ります！(目標:教職員90%)	教職員 96%	
「確かな学力」を高めるために	①学習のねらいや活動、評価規準などゴールを明確にした学習を工夫し、資質・能力の育成を目指します！(目標:児童90%)	85%	92%
	②端末などを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの授業を工夫し、主体的で対話的な学びを促します！(目標:児童90%)	95%	94%
	③AIDリルや授業支援アプリを有効に活用し、個に応じた支援を工夫し、学力向上を図ります！(目標:保護者・児童90%)	96%	91%
	④家庭学習習慣の定着と自主的な取組が図られるよう、家庭と協力し個に応じた支援を工夫します！(目標:保護者・児童80%)	61%	96%
	⑤地域を題材とした教育活動の充実を図り、「ふるさと留萌」に愛着がもてる学習を促します！(目標:教職員90%)	教職員 100%	95%

「豊かな心」と「健やかな体」を育むために	①道徳の時間で「多角的なものの考え方にふれるための意見交流」の場を作り、価値深化を促す工夫をします！(目標:児童90%)		95%
	②学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめを絶対に許さない学校づくりに努めます！(目標:保護者・児童95%)	89%	100%
	③子どもが読書好きになるよう、読書週間の設定や学校図書館の利用促進、貸出冊数の増加を促します！(目標:保護者・児童80%)	46%	91%
	④振り返りカードなども活用し、目標と学習(活動)と振り返りをしっかりと行う体育の授業を行います！(目標:児童90%)	95%	92%
	⑤基本的な生活習慣や手洗い等の徹底を呼びかけ、健康に留意し、望ましい生活ができるよう働きかけます！(目標:児童90%)	94%	95%
その他	①「学校力向上に関する総合実践事業」による教職員の業務の効率化を図り、働き方改革を進めます！(目標:教職員90%)	教職員 93%	
	②学校の取組や児童の様子を学校だよりや HP 等で情報発信し、保護者・地域に信頼される学校づくりを進めます！(目標:総合評価90%)	総合 89%	

【全体的な傾向とクロス分析】

おかげさまで、肯定的評価総合89%と高い評価をいただきました。今後も、ご期待に応えるべく、教職員一同、子どもの指導に邁進してまいります。以下、顕著な項目に対する分析です。

★学級生活に対する反応(肯定的回答割合)

保護者	95%
児童	94%
教職員	100%

保護者・児童・教職員全てが「楽しく学校生活を送っている」と感じていることが分かります。児童の満足度がより向上するよう、今後も指導に努めていきます。

★自己肯定感に対する反応(肯定的回答割合)

保護者	99%
児童	84%
教職員	93%

保護者・教員は子どもの頑張りを「認めている」と回答しているのに対し、子どもは相対的に「もっと認めてほしい！」という結果に。子どもの「よさ」をより見取っていけるようにしていきます。

★読書の時間に対する反応(肯定的回答割合)

保護者	46%
児童	91%
教職員	—

本校の朝読書の時間では全員が読書に取り組んでいます。学校内での読書について、児童は「行っている」と感じているようです。家での読書の姿がなかなか見られないという意見も多いことから、今後、読書に関する発信を増やしていきます。

★家庭学習に対する反応(肯定的回答割合)

保護者	61%
児童	91%
教職員	78%

家庭学習については、子どもの思いとしては「がんばっています！」一方、保護者側としては「もっと頑張してほしい！」と乖離が見られています。先の「頑張りを認め」つつ、望ましい家庭学習のあり方について、今後も指導していきます。

★複数教員指導に対する反応(肯定的回答割合)

保護者	95%
児童	93%
教職員	100%

少人数指導や専科指導など、非常に効果的であるという意見が多くありました。少人数指導も「分かりやすい」と子どもたちに好評です。

【アンケート意見※抜粋】

【児童の意見】

- ☆「おおきなかぶ」が楽しかったです。
- ☆算数のkahoot!が一番楽しかった。
- ☆中休みに先生とみんなでドッジボールを一緒にしてくれたことが楽しかったです。
- ☆授業の時に友達とできて仲良く出来たから楽しかったです。
- ☆算数のグループで協力してやるのが、楽しかった!
- ☆先生と一緒に体育をしてとても楽しかったです。先生が教えてくれる算数の意味などがとても分かりやすかったです。
- ☆体育のミニバレーの振り返りにいつも先生がコメントをつけてくれて嬉しかった。
- ☆最初の第一印象は、(先生が)怖いなど思ったけど四カ月くらい、一緒にいると怖い印象がなくなってやっぱり一緒にいるからこそ違う気づきができたんだなと思った!
- ☆港北との交流が楽しかった。
- ☆先生の授業が楽しい。

【保護者の意見】

- ☆今のところ楽しく学校生活を送ることができていて、お家でも宿題や家庭学習も意欲的に取り組んでいて返ってくるテストも良いので毎日がんばっているんだなと思っています。2学期もこの調子で休み明けも、ちょっとずつ学校生活に慣れて楽しく毎日の学校生活を送ってくれると嬉しいです。いつも相談事などに丁寧に対応していただき感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ☆いつも相談事などに丁寧に対応していただき感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ☆読書や家庭学習など、家庭でしなければいけない部分をおろそかにしているところがある。「やらせる」よりも自発的に取り組む環境をもう少し考えたい。
- ☆クラスの一人一人が良いところを認め合える学級経営を今後も望みます。先生の言動は子どもにとってとても影響力が大きいです。同じことを伝えるにしても、『伝え方』一つで子どもが受ける印象は変わると思います。クラス全体が温かく、前向きな言葉や笑顔が溢れるよう配慮願っています。
- 一人一人が毎日楽しく過ごし、前向きに頑張ることができるよう、子どもたちと真摯に向き合い、指導してまいります。
- ☆授業が終わってからの帰りの会が長すぎます。用事があって下校時刻に迎えに行っても他の学年は出てきても何分待って出てこない事が多く、困ることがあります。
- ご意見ありがとうございます。下校時刻の遵守徹底を図ってまいります。
- ☆課題が出ないと家での勉強時間が全然足りません。自分で考えてやる家庭学習も大事だが絶対にやらなければならない宿題も必要だと思います。毎日パソコンでの宿題でも紙でもいいので出してもらえたら嬉しいです。外部から引っ張ってきたのでもなんでもいいのですが、なあなあになってしまう家での勉強より学校から出された宿題ってところが習慣付けには必要に感じます。
- 宿題に関して本校では、「家庭での学習習慣の定着」「その日の学習内容の定着」をねらいとして、必要に応じて出すようにしています。最終的に目指すのは「自ら進んで学ぶ力」を育成することです。一人一人が自分の目的に合った学び方を身に付けて、「自分のために」学習に取り組むことができる姿勢を養っていきたくて考えています。今後も宿題と家庭学習のバランスを大切に、子どもたちを指導してまいります。

人権教室

9月4日(水)留萌市の人権擁護委員の方が来校し、5年生に授業を行いました。

今回のテーマは「いじめ」。加害者だけではなく、傍観者もいじめに加担していることを動

画を通して確認した後、「全員が気持ちよく過ごせるクラスになるには?」という課題のもと、グループで話し合いを行いました。子どもたちからは、「思いやりをもって行動する」「困っている友達がいたら必ず手を差し伸べる」など、たくさんの意見が出されていました。

本校では普段の見取りに加え、いじめアンケートやEdvPathのアセスメント、10月の教育相談など定期的に子どもたちの状況を具に把握しています。今後も子どもたちの思いや悩みに耳を傾け、常にアンテナを高く保って子どもたちの様子を見守り、指導していきます。



《全国学力・学習状況調査の結果について》

4月に行った全国学力・学習状況調査の本校の結果です。国語・算数ともに全国平均、全道平均を下回りましたが、全体的に記述式の問題の正答率が全国、全道の平均よりも高く、「考えを友達に分かりやすく伝える」力がしっかりと身に付いていることが分かりました。

この身に付いている力を大切に伸ばしながら、その支えとなる基礎基本の能力をより一層高めたいよう、学校全体で子どもたちを育てていきたいと思ひます。

国語・算数の詳細の内容は以下をご覧ください。

【国語】

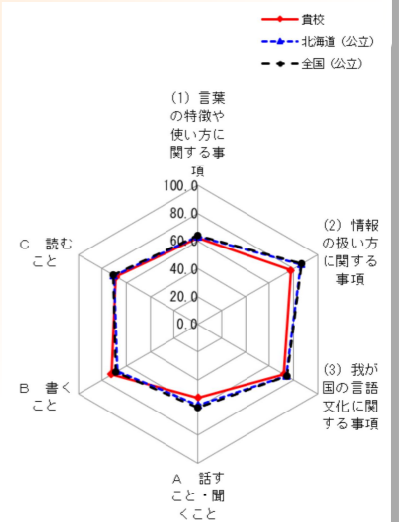
平均正答率	(65%)	
全道平均	(67%)	-2P
全国平均	(67.7%)	-2.7P

全道平均を2P、全国平均を2.7P下回りました。今年の留小っ子は、文章を書くためのきまりをよく理解し、自分の考えを文章で表すのがとても得意です。

その反面、主語と述語などの基本的な文法や自分が話す際のメモの活用の仕方など、目的や意図に応じて資料を活用し、集めた情報を分類したり関係付けたりすることが少し苦手です。

また、学習した漢字は概ね書くことができますが、その定着にやや不安があります。

学校では、自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができるよう、複数の資料を整理・分類する学習を中心に授業の改善を図ってまいります。



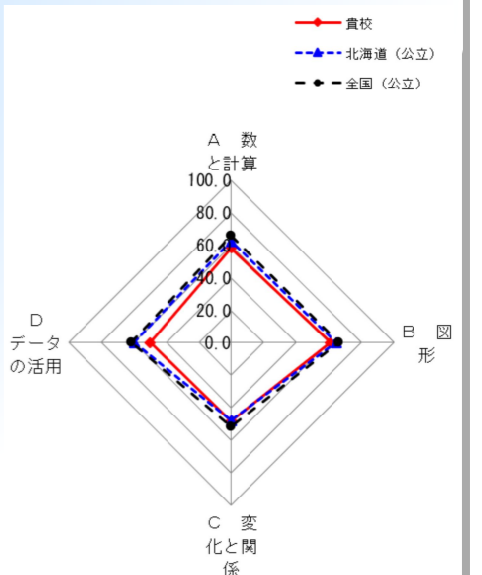
【算数】

平均正答率	(57%)	
全道平均	(61%)	-4P
全国平均	(63.4%)	-6.4P

全道平均を4P、全国平均を6.4P下回りました。留小っ子は、計算の仕方や図形の性質など理由を添えて文章で説明することが得意です。また、数量関係を捉えることも、よく理解している子が多いです。

しかし、問題を読んで立式したり、実際の計算や筆算をしたりすることに苦勞する子が多いです。また、図形を多面的に理解することや速さと道のり、時間の関係をイメージしながら計算することも苦手です。

学校では、これまで同様、根拠をもとにして計算の仕方を説明する授業を継続して行いながら、四則計算や文章題などに対応できる力をQubena等での練習を活用して伸ばしていきたいと考えています。



全国学力・学習調査の結果を6年生に渡しました

本日、調査結果の個票を子どもたちに渡しています。内容をご覧になり、これからの家庭学習の仕方等話題にして、お家でもお子さんと話し合っただけければと思います。